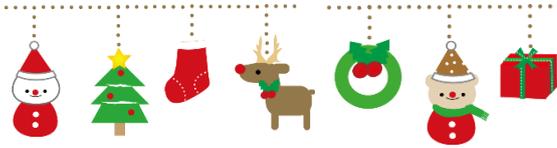


キッズだより



令和6年12月 第33号
たかといちどいキッズ

子は親の鏡

「親が正直であれば、子どもは正直であることの大切さを知る」

正直であることの大切さを教えることは、すごく大変なことだと思います。『正直な子ども＝嘘をつかない子ども』に育てるには、大人が正直でないといけません。でもこの時期サンタクロースの存在は嘘？ 本当？ と悩むところです。サンタだけでなくお化けや鬼もそうだと思います。「サンタさんが来るからよい子にしていようね」「お化けが来るから早く眠ろうね」「鬼が来るからご飯食べようね」これはどうでしょうか？ 子どもの想像の中にいるサンタさんやお化け、鬼が大人の嘘で歪んだかたちになってしまうような気がします。子どもの心の中にある豊かな想像力の芽を摘んでしまってはかわいそうです。ドキドキ、ワクワク、を大切にしていきたいなと思います。

子どもは、自分の嘘がどこまで通用するか、試しているようなところがあります。子どもが嘘をつく時は、大人に自分を見て欲しい時や叱られたくない時が思い当たります。例えば、「〇〇ちゃんにこんなことされた」と言えば、「え？ そんなことされたの？」と注目されます。「それは、〇〇くんがしたんだよ。わたしは、していないよ」と自分を守るために嘘をつく時もあります。ここで大切なのは、頭ごなしに叱ることはせず、話を静かに聞き、嘘を見逃さないことです。そして一つひとつ理解ができるようにします。もし頭ごなしに叱りつけていたら、今度からはもっと上手に嘘をつこうと思うかもしれません。『正直であることは大切であり、正直な自分を喜んでくれるから嘘はつかない』と、子どもが思えるように見守っていきたいと思います。

2024年も後1か月となりました。入園したての4月、泣き声の日々・お昼寝ができない日々。子どもも保護者のみなさんも、新しい環境に慣れるのに大変だったと思います。少しずつ泣く時間も減り、眠れる時間が増え、楽しいことを見つけられるようになり、今では毎日を笑顔で過ごせるようになりました。子どもたちの夢中になって遊ぶ姿、保育士や友だちと笑っている姿を見て微笑ましく感じています。2025年も笑顔があふれる1年でありますように。 北坂 美知子



12月の予定



誕生会	4日(水)	避難訓練	13日(金)
わくわく発表会	14日(土)	救急訓練	18日(水)
クリスマス会	20日(金)	発育測定	23日(月)



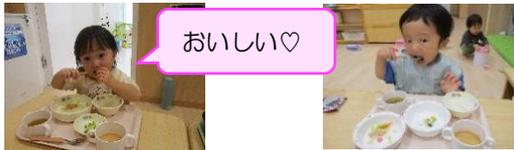


あけく・つたつてみ



食材の感触を感じながら手づかみで食べていた子どもたち。最近はスプーンにも挑戦！「スプーンで食べてみよう」と手を添え一緒にすくうようにすると、自分で食べようとする姿が見られるようになってきました。今では、こぼしながらも自分ですくい美味しそうに食べています。保育士が「上手に食べているね」「おいしいね」と声をかけると「おいしい」と言ったり、スプーンを持っている手を挙げたりして喜んでいきます。これからも手を添え一緒にすくったり、一口量を伝えたりしていきます。

鷹取駅北公園に出掛け、秋の自然に触れてきました。どんぐり拾いをしたり、色んな形や色の葉っぱなどに触れたりして、嬉しそうにしていました。今月は、公園で拾ってきたどんぐりや葉っぱなど自然物を使って製作を楽しみたいと思います。



今月のねらい：保育士と一緒に様々な素材を使って製作を楽しむ



つたつてみ



体を動かすことが好きな子どもたち。動物の曲を演奏すると、「そうさんだ！」「カメさん！」と言い、友だちと一緒にその動物になりきっていました。腕を大きく伸ばして左右に動かす子や、四つん這いでゆっくり進む子など、表現方法は様々です。「そうさんは鼻が長いよね」「かめさんゆっくり歩いているね」と話して一人ひとりの自由な表現を認め一緒に遊ぶと嬉しそうにしています。今後も、簡単な会話をしながら、自由に表現することを楽しくするようにしていきます。

「散歩に行こう」と声をかけると、自分の帽子や靴下を見つけ嬉しそうに持ってきます。必要に応じて手伝い、身支度ができるように関わります。



今月のねらい：保育士と一緒に、散歩の前の身支度をする



ひから・つたつてみ



丁寧に手を洗うことが習慣づいてきたので、先月は拭き方を繰り返し知らせてきました。ペーパータオルでの拭き方を知らせたり、拭くところを見せたりすることで、「びちゃびちゃ、ないよ」「きれいにふいた」と言い、保育士に手を見せるようになりました。「きれいに拭けたね」と認めると、子どもたちは嬉しそうにしたり、自分の手を見て喜んだりしています。やってみようとする姿を認め、手首や手の甲に拭き残しがある時には、保育士が手を添えて援助することで、しっかりと手を拭けるようにしていきます。

様々な虫や動物に関心をもっている子どもたち。子どもたちの発見を共有したり、動きを一緒に考えたりすることで、自由に表現することを楽しくするようにします。



今月のねらい：生き物の動きを体で表現して楽しむ



12月



たかとりちどり保育園のにじ組と交流をしました。保育園の友だちと関われるように遊びに誘いかけたり、仲立ちしたりすると、なべなべそこぬけや鉄棒・マット遊びなどを楽しんでいました。二人組で手をつなぐ時には「一緒にしようって言うんだよ」と声をかけると、保育士の言葉を真似して「いっしょにしよう」と言って手を繋ぎ嬉しそうにしている姿が見られました。引き続き、様子を見守りながら必要に応じて仲立ちをすることで、いろいろな友だちと遊ぶことを楽しめるようにしていきます。

感染症が流行する季節になってきました。うがいの大切さや仕方を丁寧に伝えることで、うがいに慣れていけるようにします。



ぎゅー



いっしょに
すわろう



クルクル
まわるよ

今月のねらい：自分でうがいをしようとする



《秋の味覚！さつまいもでパンケーキ作り！》

10月にたかとりちどり保育園の4、5歳児が芋ほりに行きました。おすそ分けしてもらったさつまいもで、パンケーキを作ることにしました。土が付いたさつまいもを洗ったり、半分に切って断面を見せたりすると、子どもたちは触ったり匂いを嗅いだりして興味津々でした。子どもたちは、さつまいもをマッシャーで潰したり、ボウルに入れた材料を混ぜたりすることを手伝いました。クッキングを通して、器具の使い方も慣れてきたようで、楽しそうに調理していました。ホットプレートで生地を焼いていると、その様子をじっと見つめたり、「いいにおいがする」と嬉しそうに言ったりして、ワクワクしている姿が見られました。



さつまいもの
断面に興味津々



マッシュして
生地を混ぜるよ



焼けてきた！
いいにおいだね



あまくて
おいしい！



焼けたさつまいもパンケーキをみんなで食べると、もっと食べたいと皿を指差したり、「おいしいね」「あまいね」と話したりしていました。ご家庭でも季節を感じられる食材を食べて、家族でほっこりとした時間を過ごしてみたいかがでしょうか。 山脇 このみ